

2018年度 第4回統計関連学会連合理事会・組織委員会 議事録

日時：2019年4月20日（土）13:30 – 15:30

場所：聖路加国際大学 大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センター 3204室

出席者：

【2018年度学会連合理事】（学会名五十音順）

応用統計学会	岩崎 学，中西寛子
日本計算機統計学会	足立浩平，小木しのぶ
日本計量生物学会	大橋靖雄，松井茂之
日本行動計量学会	
日本統計学会	赤平昌文，西郷 浩
日本統計学会(2019年度)	川崎 茂，山下智志
日本分類学会	栗原考次（理事長），山本義郎

【連合大会実行委員会(2019)】 竹村彰通， 笹田薫

【連合大会実行委員会(2020)】 山本義郎

【連合大会運営委員会】 中川重和，藤野友和

【連合大会プログラム委員会】 桜井裕仁，富田 誠

【JJSD 編集委員長】 青嶋 誠

幹事 石岡文生，酒折文武，富田 誠

組織委員会・議案

1. 科研費（国際情報発信強化(B)）の採択について

栗原理事長より，日本統計学会が申請した科学研究費（研究成果公開促進費）の国際情報発信強化(B)に採択されたことが報告された。期間は5年間，補助金総額は約2,000万円で，2019年度の補助金は410万円（内訳は，出版費300万円，招聘費70万円，広報費40万円）が計上されている旨，説明がなされた。

科研費（出版費）をJJSDの発行費用に充てることについて，JJSDの契約内容と科研費の申請内容との間の文言に齟齬があるため調整が必要である旨の確認がなされ，対応については次期の理事会に引き継ぐこととなった。

2. 2019年度連合大会の運営方針について（プレナリーセッション等）

桜井プログラム委員長より，プレナリーセッションの開催提案として，科研費(国際情報発信強化(B))に関係する内容のものが1件届いている旨の説明がなされ，審議の結果，2019年度連合大会では，提案者の松田安昌氏（東北大学）と組織委員会のオーガナイズの下，提案の通りプレナリーセッションを開催することとなった。関連して，以下の話し合いがもたれ，審議の結果，承認された。

- ・ 今後少なくとも5年間はプレナリーセッションを実施する方向で前向きに検討する。その際，西暦の偶数年度は赤池メモリアルレクチャーを実施し，奇数年度は組織委員会で企画する。
- ・ 組織委員会で企画するプレナリーセッションに係る費用は，科研費（招聘費）から捻出する。

3. 2019 年度連合大会 3 委員会における進捗状況について

- (1) 桜井プログラム委員長より、資料として提出された連合大会第三報（案）に沿うかたちで大会概要およびスケジュールの説明がなされた。また、以下の通り意見交換および確認が行われた。
 - ・ 連休明けの出来るだけ早い時期に第三報を流し、その翌週から講演申込を開始する。
 - ・ 報告集のウェブ掲載に関して「報告集は、本大会ウェブページにて公開予定です」と明記する。
 - ・ 滋賀大学および組織委員会の主催で、2つの特別企画セッション（国内ワークショップおよび国際ワークショップ）を開催する。名称等も含め、詳細は竹村実行委員長、桜井プログラム委員長、次期理事長を中心に進める。
- (2) 富田プログラム副委員長より、コンペティション講演セッションについて、例年通り実施する予定であること、表彰式の開催日時はできるだけ多くの人が参加可能な時間帯での実施に向けて検討中であること、などの説明がなされた。
- (3) 笛田実行副委員長より、琵琶湖の遊覧船で行う懇親会について、波の状態や欠航のリスク等を考慮し、滋賀大学彦根キャンパス付近（琵琶湖の北の方）ではなく琵琶湖の南の方で行う予定である旨の説明がなされた。関連して、懇親会当日午後の後半のセッションはバスでの移動時間に充てたい旨の提案があり、原案の通り承認された。
- (4) 中川運営委員長より、宿泊施設を紹介するウェブページおよび彦根駅から会場までの臨時バスを準備する予定である旨の説明がなされた。また、予算案については概ね例年通りの内容である旨の説明がなされた。また、予算案の支出の部の組織委員会運営費の計上額を 50 万円から 70 万円に修正することを確認した（前回の組織委員会で承認済み）。

4. 2019 年度連合大会 委員の追加について

栗原理事長より、委員長推薦により次の 3 名を新たに委員に追加したい旨の提案があり、原案の通り承認された。

運営委員会：松木隆（大阪学院大学）、土屋高宏（城西大学）

プログラム委員会：南弘征（北海道大学）

5. 2020 年度連合大会について

山本 2020 年度実行委員長より、2020 年度連合大会の開催日程について、9 月 6 日（日）のパラリンピック閉会式との兼ね合いから、開催初日を平日とし週末に終了するスケジュールで調整したい（具体的には 9 月 8 日（火）～12 日（土）の期間）旨の提案があり、審議の結果、承認された。また、チュートリアルと市民講演会を最終日に開催することも検討中との説明がなされた。

連合理事会・報告

1. JJSD の現状について

青嶋編集委員長より、JJSD に関して、これまでの経緯について説明がなされた後、現状について次の通り報告があった。

- ・ 2019 年 6 月に Vol.2 No.1 を発刊予定。論文数は、全部で 13 本（原著 9 本，特集 3 本，特集序文 1 本）となり，そのうち海外からの投稿は 5 本。
- ・ 2019 年 12 月に発刊予定の Vol.2 No.2（特集は情報理論（金森先生））は，順調に論文が投稿されている。
- ・ Vol.3 No.1 は 2020 年 6 月（特集は空間統計（松田先生）），Vol.3 No.2 は 2020 年 12 月（特集については交渉中）にそれぞれ発刊予定。
- ・ 論文投稿数は 2018 年までで通算 123 本であった。2019 年の 1～3 月は投稿数があまり伸びなかったが，4 月になってまた投稿数が増えてきている。Accept 率は現状で 30%。
- ・ 編集体制について，13 名の coordinating editor のうち 3 名の交代が最近行われたが，順調に機能している。Associate editor についても数名が交代した。

2. その他

栗原理事長より，次の報告が行われた。

- ・ シンフォニカへの業務委託料を 30,000 円から 100,000 円 に変更した旨の説明がなされた。
- ・ （一財）統計質保証推進協会から，e-learning 教材の開発に関する業務委託費として，2018 年度に 600,000 円の収入があった。
- ・ 日本学術会議における数理科学委員会の数学分科会が中心となって，大型研究計画マスタープラン「数理科学の新展開」に申請中であり，日本数学会・日本応用数理学会・統計関連学会連合が中心に申請を行った。
- ・ 前回理事会から本日までに，次のイベントに協賛・後援した。
 - WiDS Tokyo@Yokohama City University（2019 年 1 月 18 日 受諾）
 - CREST・さきがけ・AIMaP 合同シンポジウム「数学パワーが世界を変える 2019」（2019 年 1 月 22 日 受諾）
 - 第 8 回科学技術教育フォーラム（2019 年 3 月 5 日 受諾）

連合理事会・議案

1. JJSD に係る負担金について

栗原理事長より，科研費（出版費）の使用については調整が必要なことから，現時点においては，日本統計学会と日本計算機統計学会は JJSD 発行に係る費用として 2019 年度も予定通り予算を計上しておいてもらいたい旨の提案があり，承認された。

石岡幹事より，JJSD の購読価格および連合会員購読価格について，次年度も今年度と同額とすることが提案され，承認された。

2. 2018年度事業報告・会計報告について

栗原理事長より、2018年度に統計関連学会連合が実施した事業について、以下の通り説明があり、審議の結果、承認された。

- ・ 統計関連学会連合理事会・組織委員会の開催
- ・ 2018年度統計関連学会連合大会の開催
- ・ Japanese Journal of Statistics and Data Science (JJSD) の発刊
- ・ 科学研究費補助事業平成 31 年度研究成果公開促進費（国際情報発信強化）に申請・採択
- ・ （一財）統計質保証推進協会からの業務委託事業の実施
- ・ 雑誌「統計」に 2018 年度統計関連学会連合大会の報告
- ・ 各種事業への共催・後援・協賛

石岡幹事より、2018年度の会計報告について、2017年度からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、文言を一部修正の上、承認された。

3. 2019年度事業計画について

栗原理事長より、引継としての 2019 年度の統計関連学会連合の事業計画について、以下の通り説明があり、審議の結果、承認された。

- ・ 統計関連学会連合理事会・組織委員会の開催
- ・ 2019年度統計関連学会連合大会の開催
- ・ Japanese Journal of Statistics and Data Science (JJSD) の発刊
- ・ 事業委員会、統計教育推進委員会、広報委員会の開催
- ・ 統計関連学会連合事務局の充実
- ・ 各種事業への共催・後援・協賛